

親子農業体験

親子で楽しく農業体験

JAは5月23日、赤城西麓土地改良区および利根保健生活協同組合と協力し、利根町の笛田農園で今年度1回目となる「親子農業体験」を開きました。当日は、利根沼田管内外から小学生以下の子どもを持つ親子16組43人が参加。トウモロコシの種まきとサツマイモやジャガイモの定植、二十日大根と小松菜の収穫を体験しました。参加者は真剣に種まきを行い、収穫時には笑顔で作業しました。また当日は、利根保健生活協同組合による手洗い教室や、長谷川久代さんによるトウモロコシが育つまでの説明も行われました。次回は8月、自分たちで種まきをしたトウモロコシの収穫などを体験する予定です。



収穫した野菜を手にする子どもたち



サツマイモの定植を行う参加者

JA利根沼田ファミマ産直部会

新規栽培に向け講習会を開催

JA利根沼田ファミリーマート産直部会は4月22日、みなかみ支店で4月より国の指定野菜となったブロッコリーに関する栽培講習会を開きました。講習では、全農ぐんまの鈴木優夫専任課長を講師に迎え、栽培に向けての品種選びや栽培管理の方法などについて学びました。講習後はフライパン一つで出来るブロッコリーのレシピも紹介され部会員は試食をしました。



説明を行う鈴木専任課長

第3回リゾケアアカデミー

直播機による実演会を開催

JAは5月8日、みなかみ町の水稲生産者圃場（ほじょう）で第3回リゾケアアカデミーを開きました。水稲生産者や関係者22人が参加し、乗用直播（ちよくは）専用播種機による点播（てんぱ）の実演を研修しました。直播機による播種（はしゅ）作業では、約10畝の土地を20分ほどで播種しました。今後は7月頃にリゾケアの生育確認や栽培管理講習を行う予定です。



播種機を使った実演

青年部白沢支部

白沢小学校5年生が稲作体験

青年部白沢支部は5月22日、食農教育の一環として稲作教室の田植え体験を開催し、白沢小学校5年生29人が参加しました。初めに松村正浩支部長から苗の植え方を教わると、児童たちは一列に並び田植えを行いました。児童らは泥だらけになりながらも、笑顔で作業を行いました。今後は9月下旬頃に稲刈りを行う予定です。



指導する青年部員と田植え体験をする児童

みなかみ町 本多貞良さん

児童が田植えを体験

みなかみ町の本多貞良さんは5月22日、地域の農業と触れ合うことを目的に田植え体験を行い、新治小学校の4年生28人が参加しました。本多さんが苗の成長過程や植え方の説明をした後、児童らは素足で田んぼに入り、声を掛け合いながら田植えをしました。9月下旬には稲刈り体験を行う予定です。



田植えを行う児童たち